

日本教育方法学会 第25回大会プログラム

《大会日程》

第一日 (10月13日・金)	9:30	課 題 研 究 I				課 題 研 究 II			
	12:00	休 憩							
	13:00	自由研究 1	自由研究 2	自由研究 3	自由研究 4	自由研究 5	自由研究 6	自由研究 7	自由研究 8
	15:00	休 憩							
	15:20	課 題 研 究 III				課 題 研 究 IV			
	17:40	会 員 懇 親 会 (18:00より)							

第二日 (10月14日・土)	9:00	自由研究 9	自由研究 10	自由研究 11	自由研究 12	自由研究 13	自由研究 14	自由研究 15	自由研究 16
	11:30	総 会 (11:40~12:30)							
	11:40								
	12:30	休 憩							
	13:30	シ ン ポ ジ ウ ム							
	17:00								

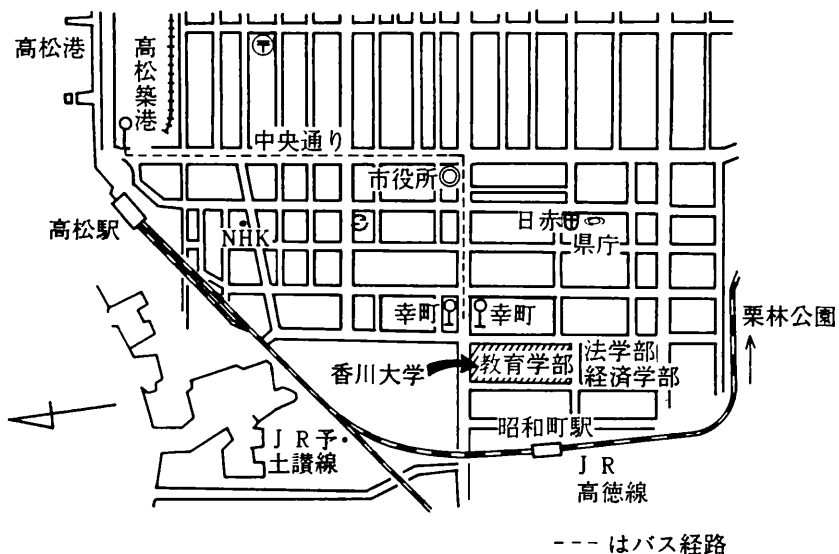
* 司会者は50音順、共同研究発表者の氏名は発表申し込み書に記入された順序によります。○印は口頭発表者です。

1989年10月13日(金)・14日(土)
於 香 川 大 学 教 育 学 部

大会参加要領

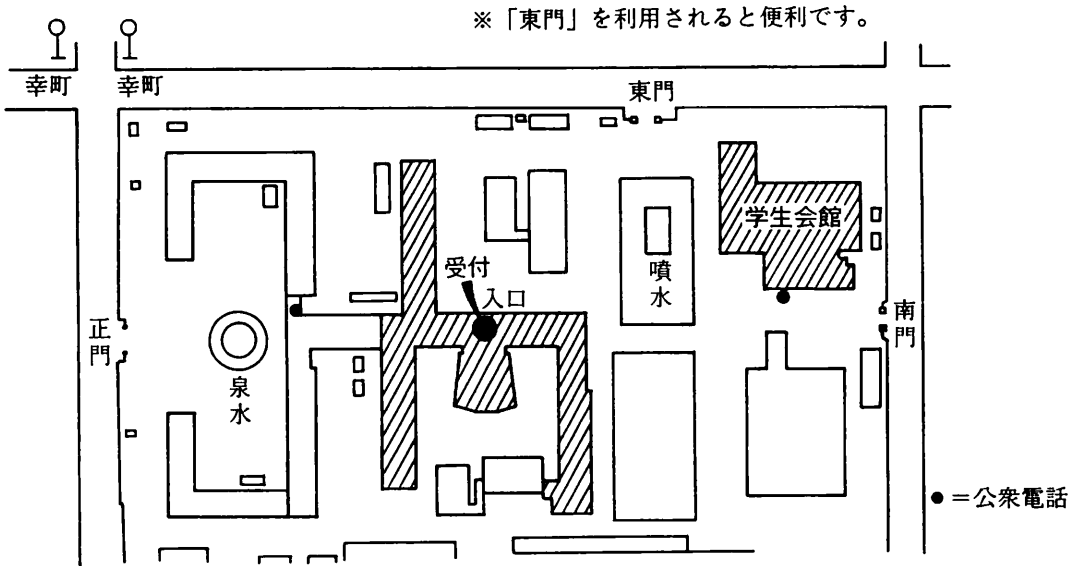
1. 受付 : 大会第1日(10月13日)は9:00、第2日(10月14日)は8:30から、会場入口で行います。
2. 学会費 : '89年度会費は、一般会員5,500円、学生会員4,000円です。
(未納の方は、当日受付にてお納め下さい。)
3. 参加費 : 一般会員2,500円、学生会員1,500円です。(発表要旨集録代を含む)
当日会員(臨時会員)もこれに準じて受付けております。
4. 昼食について : 学生会館1階食堂をご利用下さい。
なお、周辺の飲食店は若干しかございません。
5. 会場校連絡先 : 〒760 高松市幸町1-1
香川大学教育学部教育学研究室
(TEL) 0878-61-4141
6. 交通 : 高松駅前のバス乗場(高松築港)1番から、^{しもかさい}下笠居線(王越^{おうこし}又は弓弦羽^{きうげんは}行)で約10分、「幸町」下車、徒歩2分。
高松駅からタクシーで約10分。
高松空港からタクシーで約30分。

香川大学案内図

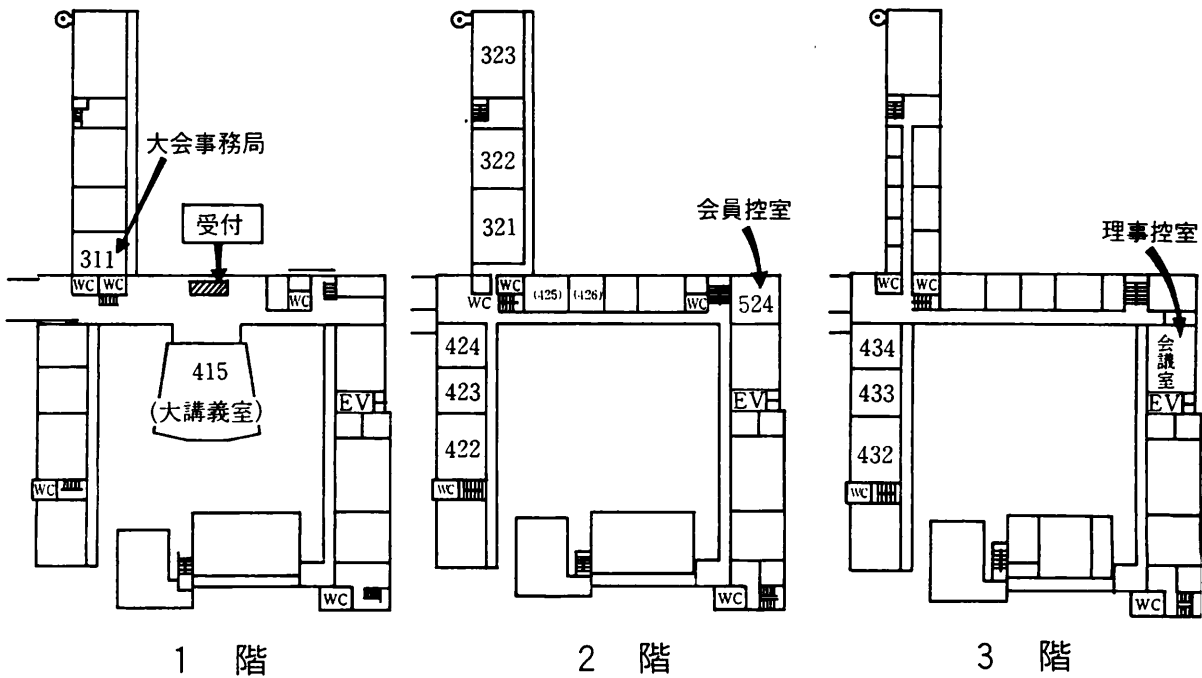


7. 会場配置図

香川大学教育学部キャンパス図



教室配置図



※会員控室は2階524教室です。お茶などを用意いたしております。

10月13日 (金) 午前

課題研究Ⅰ 学校教育における知育と徳育

— 道德教育をどう構想するか —

(323教室)

(9:30～12:00)

司会者

佐藤三郎(流通科学大学)

竹内常一(国学院大学)

提案者

七條正典(香川大学教育学部
附属高松小学校)

子どもの教材性に学び、道德性を高める道德の
時間の指導のあり方

田中耕治(兵庫教育大学)

学力評価論からのアプローチ

十枝修(徳島大学)

道德理論の教育と自治能力の形成

＜趣旨＞ 今回の教育課程改訂では、学校における教育活動全体を通しての道德教育の重視がうたわれている。そこで、知育と徳育の関連から、教育課程の各領域(教科、道德、特別活動)における道德教育、それらの相互関係等、学校教育における道德教育の構造について、理論的に、また実践的にあらためて検討を試みたい。

課題研究Ⅱ 情報化社会における教育の方法・技術、 教材・教具の開発

(321教室)

(9:30～12:00)

司会者

稲葉宏雄(京都大学)

中野和光(福岡教育大学)

提案者

本田敏明(茨城大学)

学習集団研究・実践から問うもの

川合治男(筑波大学)

情報化社会のコンピュータ利用教育

村川雅弘(鳴門教育大学)

情報化社会に求められる教師の力量とその形成

＜趣旨＞ 新学習指導要領の改訂の特徴の一つは「情報化」であり、また今日の社会は「情報化社会」ともいわれている。その中で、教育方法における「情報」の位置づけをめぐって、様々な議論がなされている。そこで、「情報」をどう捉えるのか、「情報」の人格発達の意味、また、コンピュータ学習の内容、教材・教具としてのコンピュータ、などの観点からこの問題について検討する。

10月13日 (金) 午後

自由研究発表 1 (432教室)

司会者 杉浦美朗(兵庫教育大学)
平光昭久(椋山女学園大学)

- 13:00 授業における意志の発達
— 認識-感情の統一的授業構成に関する研究(その3) —
住野好久(広島大学大学院)
- 13:30 B. B. ダヴィドフの「発達の教授=学習」理論についての検討
山崎雄介(京都大学大学院)
- 14:00 陶冶内容の習得手順と教授方法システム
山住勝広(神戸大学大学院)
- 14:30 「授業感想ラベル」の活用に関する開発的研究(その2)
— 実習教育への活用の試み —
林 義樹(中村学園大学)

自由研究発表 2 (433教室)

司会者 碓井岑夫(和歌山大学)
諸岡康哉(金沢大学)

- 13:00 子どもの個性の作文におけるあらわれ
仁木政夫(鳴門教育大学大学院)
- 13:30 訓育理論の基本的課題(その3)
— 学校自治における「要求の組織化」の位置 —
船越 勝(広島大学大学院)
- 14:00 アメリカのエクストラカリキュラー アクティビティにおける
「自治」概念の検討
斎藤 信(筑波大学大学院)
- 14:30 精神発達遅滞を有する弟への生活指導について
八巻正治(四国学院大学)

10月13日 (金) 午後

自由研究発表 3 (434教室)

司会者 岩 浅 農 也 (日本赤十字看護大学)
小田切 正 (北海道教育大学)

- 13:00 社会科における完全習得学習システムの検討
— アメリカの社会科における具体的展開をてがかりとして —
岸 本 実 (京都大学大学院)
- 13:30 自己認識の深化と生活科実践の要件 長 岡 文 雄 (佛 教 大 学)
- 14:00 生活科で「生きる力」を育む体験活動学習の方法
○ 梶 田 磐 (日本ルーテル神学大学)
○ 田 中 康 善 (東京学芸大学附属
世田谷小学校)
○ 小 池 俊 夫 (日本私学教育研究所)
土 橋 美 歩 (東京都江戸川区立
大杉小学校)
青 木 實 (昭和音楽大学)

自由研究発表 4 (422教室)

司会者 岩 垣 攝 (千 葉 大 学)
菅 井 勝 雄 (大 阪 大 学)

- 13:00 算数・数学の問題解決における教材・教具の役割について
— 教材・教具論の pragmatic approach —
松 下 佳 代 (京都大学大学院)
- 13:30 分数計算の学力実態と指導過程に関する一考察
○ 佐 藤 年 明 (三 重 大 学)
○ 中 村 純 司 (三重大学大学院)
- 14:30 技術教育方法論の再検討(1)
沼 口 博 (大 東 文 化 大 学)

10月13日 (金) 午後

自由研究発表 5 (423教室)

司会者 磯田 一雄 (成城大学)
佐伯 正一 (関西外国語大学)

13:00 アメリカにおける教員評価の動向

小野 由美子 (広島中央女子短期大学)

13:30 教育実習生の授業技量の上達程度を知る指標

若原 直樹 (北海道教育大学)

14:00 教員養成における理論と実践の相互交流

— 教師の教材づくりの手法を例に —

○山岸 昭則 (金沢女子高校)

○寺岡 英男 (福井大学)

自由研究発表 6 (424教室)

司会者 小川 博久 (東京学芸大学)
高田 喜久司 (上越教育大学)

13:00 授業の縦断的研究に関する一視点

— 個人別発言表を使用する子どもの追究 —

田上 哲 (九州大学大学院)

13:30 算数科における児童の個人差に応じる教授ストラテジーに関する

実証的研究

中川 敏之 (鳴門教育大学大学院)

14:00 現代アメリカの道德教育に関する一考察

伊藤 啓一 (金沢工業大学)

14:30 幼児の土だんごづくり活動の研究

— その自発的活動の過程と伝承の構造 —

尾崎 春人 (銀嶺幼稚園)

自由研究発表 7 (321教室)

司会者 庄 司 他人男 (福 島 大 学)
中 村 亨 (九 州 大 学)

- 13:00 子どもの学習意欲を促すためのカリキュラム構成と授業過程に関する実証的研究
— 1週間のタイムスケジュールを通して —

江 崎 孝 坪 (鳴門教育大学大学院)

- 13:30 社会科教育ソフトプログラムの学習方法論的考察
— アメリカ地理教育ソフトプログラムを考察対象として —

中 村 哲 (兵庫教育大学)

- 14:00 授業における児童の思考・情意過程の把握に関する実証的研究

渡 辺 和 志 (鳴門教育大学大学院)

- 14:30 小学生向け学習用シミュレーションソフトの作成方法とその検討
— 「光」の学習単元を中心に —

○竹 下 礼 生 (鳴門教育大学大学院)
大 隅 紀 和 (鳴 門 教 育 大 学)

自由研究発表 8 (322教室)

司会者 清 水 毅四郎 (信 州 大 学)
八 田 昭 平 (鳴 門 教 育 大 学)

- 13:00 中学校社会科における選択学習の設計に関する研究

水 越 敏 行 (大 阪 大 学)
○木 原 俊 行 (大阪大学大学院)
○堀 内 寿 夫 (愛媛大学教育学部
附 属 中 学 校)

- 14:00 中学校選択学習の設計・実施・評価に関する研究
— 愛媛大学附属中学校の「教科間選択学習」を事例として —

○吉 崎 静 夫 (鳴 門 教 育 大 学)
○山 本 哲 也 (愛媛大学教育学部
附 属 中 学 校)
○菊 地 博 明 (愛媛大学教育学部
附 属 中 学 校)

10月13日 (金) 午後

課題研究Ⅲ 「生活科」の教授学的検討

— 教科論・発達論・指導論などから — (323教室)

(15:20～17:40)

司会者

川合 章 (中京大学)

水越 敏行 (大阪大学)

提案者

長澤 憲保 (広島大学附属小学校) 方法的能力を育てる「生活科」の教科課程について

新福 祐子 (大阪教育大学) 家庭科から考える生活科

安彦 忠彦 (名古屋大学) カリキュラム論的観点からみた「生活科」の問題点

＜趣旨＞ 今回の学習指導要領改訂で「生活科」が新たに設けられることになった。様々な実践もすでに試行されている。教科としての「生活科」はどのような性格を持つのか、発達論的意義はどこにあるのか、具体的な指導をどう構想したらよいのか、などについて、これまでの低学年社会科廃止論や社会科・理科・家庭科などの実践およびそれらの教科間の関連指導に関する論議などをふまえて検討する。

課題研究Ⅳ 教育実習の内容および方法の

改善に関する総合的研究＜継続＞ (321教室)

(15:20～17:40)

司会者

柴田 義松 (東京大学)

山田 昇 (奈良女子大学)

提案者

堀江 伸 (杉野女子大学) 初期経験としての模擬授業の意義

田中 博之 (大阪大学) ティームティーチングによる校内研修過程の分析

豊田 久亀 (大阪市立大学) 教育実習の歴史に学ぶ

＜趣旨＞ 教師教育・教員養成について、本学会では十数年間課題研究として取り組んできた。これらの成果の集約・発展をめざし、1987年度より科学研究費を得て、「教育実習の内容および方法の改善に関する総合的研究」について、教育実習の歴史的研究、新しい実習指導形態の探究、実習で形成すべき指導力の定式化、諸外国との比較研究などの総合的研究を継続している。本課題研究は、これらの成果報告と会員による共同討議をめざすものである。

会 員 懇 親 会

日 時 : 第1日(10月13日) 18:00から

会 場 : 学生会館1階ホール

会 費 : 2,500円程度

会員相互の親睦をはかるため懇親会を開きます。
多数の会員の皆様のご参加をよろしくお願いします。

会 員 総 会

日 時 : 第2日(10月14日) 11:40~12:30

会 場 : 1階415教室(大講義室)

昼食・休憩前ですが、ぜひとも多数ご参集下さい。

書籍販売について

学会事務局では、受付にて学会機関誌『教育方法』ならびに研究紀要『教育方法学研究』の最新刊及びバックナンバーの販売を会員割引価格等にて販売いたしております。この機会に是非お求め下さい。

また、本大会の『発表要旨集録』を別途希望される方には、一部800円にて頒布いたしております。

なお、『教育方法』最新刊第18号(「新教育課程と人間的感性の育成」)は、本年度より「会員買取制」となりましたので、本年度会費を納入された方には随時お手元に出版社より郵送いたします。

10月14日 (土) 午前

自由研究発表 9 (432教室)

司会者 折出 健二 (愛知教育大学)
田代 高英 (福岡教育大学)

- 9:00 授業における追求の方向性と授業形態との関連
— 5年国語「大造じいさんとガン」を例に —
伊崎 一夫 (神戸大学教育学部)
附属住吉小学校
- 9:30 授業における練習の位置と役割
新保 賢了 (金沢市立南小立野小学校)
- 10:00 「学習」についての語用論的分析(2)
— 「経験主義」学習論の再評価のための観点の提起 —
藤井 千春 (大阪府立大学)
- 10:30 アメリカにおける就学前教育改革の動向と問題点
橋川 喜美代 (上越教育大学)

自由研究発表 10 (433教室)

司会者 豊田 久亀 (大阪市立大学)
長岡 文雄 (佛教大学)

- 9:00 篠原助市の教科編成論に関する一考察
伊藤 博之 (京都大学大学院)
- 9:30 関 衛 (1889~1939) による「図画教授法」の基礎的考察
向野 康江 (筑波大学大学院)
- 10:00 教育方法の思想化 (その1)
— 教育思想としての斎藤喜博の授業形態論 —
北川 金秀 (神戸大学教育学部)
附属住吉小学校
- 10:30 日本民主教育史
— 西益津中学校の探究学習 (探究学習の創造 第4報) —
松岡 喜保 (志太教育・科学研究所)

自由研究発表 11 (434教室)

司会者 外山英昭(山口大学)
藤田昌士(立教大学)

- 9:00 公民教育内容史研究序説
― 特に人口政策に関する記述をめぐって ―
松野 修(名古屋大学大学院)
- 9:30 社会科成立期の地域社会科教育計画の研究(4)
― 久留米市教育計画(久留米プラン)の分析 ―
谷本美彦(宮崎大学)
- 10:00 戦後初期における「日常生活課程」の成立と展開に関する研究
○山口 満(筑波大学)
○安井 一郎(筑波大学)
- 11:00 「国民科大陸事情」のカリキュラムと教科書
― 在満・関東国民学校の「郷土教育」 ―
磯田 一雄(成城大学)

自由研究発表 12 (422教室)

司会者 藤岡信勝(東京大学)
岩田一彦(兵庫教育大学)

- 9:00 高等学校「公民科」の理念と授業過程についての検討
林 泰成(同志社大学大学院)
- 9:30 授業への日本語ワードプロセッサ導入における問題点の検討
― 小学校社会科を事例として ―
浅田 匡(国立教育研究所)
- 10:00 小学校社会科「ネタ」教材の形態とその理論的性格
― 有田和正氏の授業実践を手がかりに ―
関 浩和(兵庫教育大学大学院)
- 10:30 教科教育における授業リソースに関するデータベース開発とその活用研究(1)
― 兵庫教育大学社会系教科教育の試み ―
○岩田 一彦(兵庫教育大学)
○中村 哲(兵庫教育大学)
○寺尾 健夫(兵庫教育大学)

自由研究発表 13 (423教室)

司会者 大西忠治(都留文科大学)
山下政俊(島根大学)

- 9:00 読み取り過程における内面的活動の様相
藤村晴美(鳴門教育大学大学院)
- 9:30 教材解釈と発問づくりの関係について
— 文学作品の指導を中心に —
藤原 顕(神戸大学大学院)
- 10:00 物語文の構造理解
— 物語文法(story grammar)による調査 —
前田保司(鳴門教育大学大学院)
- 10:30 「説明文(説明的文章)」の指導方法の分析(2)
○諸野脇 正(千葉県看護大学校)
○岩本 香(千葉明德短期大学)
岡本明人(上武大学)

自由研究発表 14 (424教室)

司会者 臼井嘉一(福島大学)
渡辺光公(香川県明善短期大学)

- 9:00 今日の社会的動きに応じた社会科カリキュラムの実践的探求
— 社会問題領域の導入 —
○坂井俊樹(東京学芸大学)
○秋山寿彦(東京学芸大学附属世田谷中学校)
- 10:00 面積概念形成に関するコンピューターを利用したカバリエリの方法導入の試み
○進藤聡彦(山梨大学)
○守屋誠司(兵庫女子短期大学)
- 11:00 生活科実践に求められる教師の力量と大学における生活科カリキュラムの構想
村川雅弘(鳴門教育大学)

自由研究発表 15 (321教室)

司会者 安彦忠彦 (名古屋大学)
杉山明男 (神戸大学)

- 9:00 小学生の日本語ワープロに関するフロロピ空間の理解と認識
— 小学5年生を対象にした日本語入力の基本操作学習を中心にして —
○森 基 (鳴門教育大学大学院)
大隅紀和 (鳴門教育大学)
- 9:30 情報化時代の英語教育における視聴覚的方法論
菱田一三 (東海大学外国語教育センター)
- 10:00 大学学部生を対象にした日本語入力操作演習の試行と結果の検討
○大隅紀和 (鳴門教育大学)
竹下礼生 (鳴門教育大学大学院)
森 基 (鳴門教育大学大学院)
- 10:30 大学における授業評価の方法について
八田昭平 (鳴門教育大学)

自由研究発表 16 (322教室)

司会者 天野正輝 (京都大学)
渡辺光雄 (筑波大学)

- 9:00 【デザイン】領域の題材開発について
— 遊びの要素によるアプローチ —
中川 泰 (大阪教育大学附属高校天王寺・平野校舎)
- 9:30 「教えることによって学ぶ」方法の探究
— リフレクション (Reflection) 概念を中心として —
○菅井勝雄 (大阪大学)
○森田英嗣 (大阪大学大学院)
- 10:30 授業諸要因の関連構造の分析
— 授業「もよう」における2つの要因間の媒介項に注目して —
○日比 裕 (名古屋大学)
○的場正美 (名古屋大学)
○石川英志 (岐阜大学)
○今井昌彦 (東海女子短期大学)
平山 勉 (名古屋大学大学院)

10月14日 (土) 午後

シンポジウム (415教室)

(13:30~17:00)

新学習指導要領・教免法改訂と 教師教育の課題

司会者

斎藤 浩志 (神戸大学)

中野 光 (立教大学)

提案者

木下 繁弥 (大阪教育大学) 「自己教育力」の育成と教師教育

中野 重人 (文部省初等中等教育局) 生活科の新設とこれからの小学校教育

白井 慎 (法政大学) 開放制教師教育理念にたって主体的に教師教育の創造を
—私立一般大学の立場から—

江幡 裕 (香川大学) 教免法改訂は教師教育の課題を解決できるか

百々 康治 (中京女子大学) 教師教育における「教育方法学」

＜趣 旨＞ 学習指導要領の改訂と期を同じくして、教育職員免許法が改訂された。新学習指導要領や教免法改訂の背景や問題点、新学習指導要領と教師教育の課題、教免法改訂と大学における教師教育のあり方など、様々な観点から教師の望ましい力量形成について広く検討する。

日本教育方法学会刊行書籍

教育方法 1.	教科内容・指導方法の現代化	1966	(品切)
教育方法 2.	授業改造の基本問題	1968	(品切)
教育方法 3.	授業の組織化と教師の指導性	1969	(品切)
教育方法 4.	学力差と教授・学習過程	1970	(品切)
教育方法 5.	教育方法学'70年代の課題	1972	(品切)
教育方法 6.	授業研究の課題と方法	1974	(品切)
教育方法 7.	現代学校教育論の再検討	1975	(2,300円)
教育方法 8.	教育課程再編の原則	1976	(品切)
教育方法 9.	現代訓育理論の探究	1977	(2,100円)
教育方法10.	学力の構造と教育評価のあり方	1979	(品切)
教育方法11.	現代授業理論の争点と教授学	1980	(2,400円)
教育方法12.	学級教授論と総合学習の探究	1982	(2,600円)
教育方法13.	いま授業で何が問われているか	1984	(2,400円)
教育方法14.	子どもの人間的自立と授業実践	1985	(2,800円)
教育方法15.	実践にとって教授学とは何か	1986	(2,200円)
教育方法16.	個性の開発と教師の力量	1987	(2,400円)
教育方法17.	教育方法を問い直す	1988	(2,900円)

最新刊・教育方法18「新教育課程と人間的感性の育成」

内 容

- I. 教育課程改訂とその問題点
- II. 管理主義教育の克服と学校の役割
- III. 戦後教育実践における教育技術観
- IV. 人間的感性の育成と教育方法の課題

◎ 大会当日、会場にて会員割引価格で販売いたします。
 この機会に多数の方々のご購入をお願いいたします。
 18号からは、「会員買取制」となりましたので、会費
 を納入された方には明治図書より直接お手元まで郵送
 いたします。

明治図書

〒170 東京都豊島区南大塚 2-39-5
 TEL (03) 946-2221 (代)